

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	魚食普及促進事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	熟成 市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
地場産水産物の地産地消及び消費拡大が図られ、食育推進にも寄与しています。		地場産水産物の販路拡大を図るため、湘南ひらつか魚食普及協議会が実施する各種事業を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	魚調理教室・魚食普及イベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	42	42	42	42	
	実績	41	40	42		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	各種イベント参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	19000	19000	19000	19000	
	実績	18000	19600	19300		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
魚のさばき方教室等による食育の推進や、近隣市のJA直売所、地どれ魚直売会での水産物の販売を引き続き支援するとともに、学校給食にも地魚を提供しました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	水産物に接することにより、市民の関心が高くなり魚食普及につながることから、各種啓発事業を支援することは必要です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	地産地消の推進や魚食の普及により、魚の消費拡大が図られることから継続して実施することは有効です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	魚調理教室や朝市を開催する手段として、水産関係各団体が協力・連携して行っている魚食普及活動を支援していきます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	水産関係の各種参加団体の特性を生かした活動を支援していきます。	高中低
今後に向けた課題の分析 消費者ニーズに対応した食材提供の方法を考察するとともに、小中学生の魚離れへの対策として継続的に学校給食へ提供できる体制を整えることが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		魚調理教室、魚まつり 朝市等の開催	魚調理教室、魚まつり 朝市等の開催	魚調理教室、魚まつり 朝市等の開催	魚調理教室、魚まつり 朝市等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	300	300	300	300
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		300	300	300	300
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 魚食普及イベントの開催を支援することにより、地場産水産物の地産地消や消費拡大を図ります。また、学校給食課と連携し、魚の加工処理等について、給食への食材提供がスムーズになるよう協議していきます。
課長コメント 既存のイベント開催を通し、地産地消の普及のため事業を進めます。